

A77a HPC/HPCIの状況と今後の取り組み

荻野 竜樹 (名古屋大学)

HPCI(High Performance Computing Infrastructure:革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ)では、その準備段階コンソーシアムが2010年9月に発足した。京コンピュータを頂点として大学や研究機関が有する日本全体のスーパーコンピュータインフラを連携して最大の成果を創出する目的で、検討総会や検討委員会でコンソーシアムの理念、活動、運営及び課題選定について精力的に議論し、H23年度中に結論をまとめるのと同時に準備業務を完了する計画である。こうして、H24年4月にはコンソーシアムは本格段階へ移行し、H24年11月には京コンピュータを中心とするHPCIシステム運用開始となる。

名古屋大学太陽地球環境研究所は太陽地球環境研究分野のユーザコミュニティ機関としてHPCI準備段階コンソーシアムに参加し、情報を広報し、意見を集約反映する役目を担ってきた。また、コンソーシアムはH24年4月から法人として組織される計画なので、そのメンバー(正会員)となって、ユーザコミュニティからの意見反映を図る方針である。

HPCIシステム(京コンピュータと基盤センターのスーパーコンピュータを中心とした計算機資源)の運用開始に向けて、H24年6月に公募し、課題選定がH24年9月までに終了する。その京コンピュータの利用枠で、戦略プログラム50%、若手人材養成枠5%を含む一般利用枠30%の配分方針である。HPCIシステムは京コンピュータと9基盤センターの計算機資源を含み、シングルサインオンとワンストップサービスを掲げている。更に広域ファイルシステム(Gfarm)の利用が意図されていて、利用者にとって最先端のIT基盤利用環境が実現することが期待される。